

## 船舶事故調査報告書

平成21年8月20日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘

委員 楠 木 行 雄

委員 横 山 鐵 男（部会長）

委員 山 本 哲 也

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年3月26日 15時05分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、和歌山県広川町 唐尾港北防波堤灯台から真方位298°1.3海里付近（概位 北緯34°01.1 東経135°05.2）であった。）
事故調査の経過	平成21年3月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第8紀 <sup>きご</sup> 互丸、2.30トン WK3-15516（漁船登録番号）、個人所有 8.40m×1.84m×0.68m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数45、昭和52年1月6日
乗組員等に関する情報	船長 男性 74歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年11月22日 免許証交付日 平成21年3月18日 （平成26年11月28日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	全損
事故の経過	本船は、平成21年3月26日13時～14時ごろ、船長1人が乗り組み、いかかご漁のため和歌山県広川町 <sup>かろ</sup> 唐尾漁港を出港した。15時05分ごろ、同町鷹島で釣りをしていた人から、漁船が乗り揚げていると、海上保安庁に通報があり、唐尾港北防波堤灯台から真方位298°1.3海里付近で無人のまま乗り揚げている本船が発見された。捜索の結果、同日16時50分ごろ、本船発見場所から南約1海里付近の海上で、救命胴衣を着用せず浮遊している船長が発見され、急性心不全と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3 海象：多少波があった。
その他の事項	漁協関係者の口述によれば、本船が発見されたとき、引き揚げたいかかごが甲板上に残っていた。船長の家族の口述によれば、操業方法は、前もって海中に投入していたいかかごを船上に引き揚げ、いかを取り出した後、再び投入していた。

	船長は、体調不良は特になかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし 不明 死因は急性心不全であった。 船長が、操業中に落水したものと考えられる。 船長が、急性心不全により死亡したものと考えられる。 船長が、落水したことと、急性心不全を発症したことについて、その因果関係を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、鷹島南方沖の漁場において、本船が操業中、船長が急性心不全を発症したため、発生した可能性があると考えられる。	